



令和5年12月20日：発行責任者 学校長

## R6 年度から高学年の下校の仕方が変わります



現在、高学年 4・5・6年生（火・金は3年生含む）は、月～金まで全児童が運動場に登校班ごとに整列し、下校しています。

ただ、最初に運動場に出る児童と最後に運動場に出る児童との時間差は、5～6分あります。冬は木枯らしの中を夏はカンカン照りの中をじっと待つのは大変です。

また、委員会やクラブの際、用具の片づけや着替えを伴う委員会やクラブは、集団下校で早く出る児童を待たせないために10分以上活動時間を切り上げています。

低学年はともかく高学年では、不審者対策の観点から見ても、ある程度時間を決めて一斉に帰れば、運動場に全員が整列して班ごとに帰る必要性はあまりないと思います。

そこで、R6年度から、4～6年生は、水曜日を除き時間を決めて運動場に集合せず、各教室から下校をします。（水曜日はこれまで通りの全校一斉下校です。）

そして、試行も兼ねて今年度の3学期より木曜日のクラブと委員会は、各教室からの下校とします。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、1・2・3年生は、R6年度以降も安全面への配慮からこれまで通りの下校です。

## ICT サポーター（パソコンの先生）

週に1日、ベネッセコーポレーションからICTサポーター（パソコンの先生）として河原智子さんが清音小にいられています。各クラスに入って担任の先生と一緒にプログラミング学習やネットモラル学習等のサポートをさせていただきます。

また、学校ホームページや学校評価アンケート、出欠連絡システム等のサポートや、ICT活用に関する職員研修もお願いしています。



## AI ドリル（ドリルパーク）について 参照：ベネッセコーポレーションHP

1～6年生の一人一台パソコンには、「ドリルパーク」と「タブレットドリル」という2種類のAIドリルが入っています。

学校では主に「ドリルパーク」を授業や宿題に使っています。

AIドリルでは、子どもが主体的に学習を進められるように様々な工夫がされています。

回答は自動で正誤判定し、即時にフィードバックされ、間違えた問題もピックアップして解き直せるので、つまずきを残さず、

効果的に学力を伸ばせます。児童の回答傾向を分析し、その児童に合わせた問題も出題させることが可能です。また、前学年までの既習事項の学びなおしが容易にできます。問題の特性上、漢字の書き取りは手書き入力で行います。

3年生以上の児童は冬休みも一人一台パソコンを持って帰ります。児童がAIドリルに取り組む様子を見守っていただければと思います。



	ベーシックドリル	パワーアップドリル
国語	約2,400問	約250問
算数	約5,500問	約170問
理科	約380問	—
社会	約100問	—



心も体も温かく、よい年の瀬をお迎えください。本年もご協力ありがとうございました。